

第 11 回日本放射線事故・災害医学会 年次学術集会

大会長 ご挨拶

第 11 回日本放射線事故・災害医学会会長を拝命いたしました、弘前大学救急災害・総合診療医学講座 花田裕之です。東日本大震災に引き続いて起こった福島第一原子力発電所事故を契機としてそれまでの被ばく医療体制が見直されて、原子力災害医療として避難者となる地域住民を主な対象とする医療体制となりました。ひとたび事故が起こると原子力施設内で多くの労働者を必要とすることも事実であり、こういった場所での医療体制も十分である必要があります。この 10 年で多くのことを学び、備えを行ってきております。一方で世界情勢は変化してきており、ウクライナへのロシアの侵攻は、原子力発電所が戦争のターゲットとなりうることを世界に示しました。

今年の学会ではこれらのことをふまえ「次の 10 年を展望して」- 原子力災害医療におけるコラボレーション-と題し開催させて頂くこととしました。災害には自然災害もありますが、人為災害も災害の一つです。日本の周辺も必ずしも安全と言えなくなっているかもしれません。本学会では、現状の医療体制をふまえつつ、周辺国とのコラボレーション、一般災害医療チームである DMAT とのコラボレーションについて、取り上げてみます。オンサイト医療体制や、海洋放出されるトリチウムについても考えてみたいと思います。

初秋の弘前は早生のリンゴ、“つがる”が実る季節です。弘前へおいでいただきその辺も楽しんでいただければ幸いです。

大会長 花田 裕之

弘前大学大学院医学研究科 救急災害・総合診療医学講座 教授
弘前大学医学部附属病院 高度救命救急センター センター長

令和5年8月吉日

第11回日本放射線事故・災害医学会 年次学術集会

大会長 花田 裕之



趣意書

謹啓 小暑の候 貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より、本学会には格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、第11回日本放射線事故・災害医学会を『弘前大学医学部コミュニケーションセンター』にて開催する運びとなりました。

東日本大震災に引き続いて起こった福島第一原子力発電所事故を契機としてそれまでの被ばく医療体制が見直されて、原子力災害医療として避難者となる地域住民を主な対象とする医療体制となりました。ひとたび事故が起こると原子力施設内で多くの労働者を必要とすることも事実であり、こういった場所での医療体制も十分である必要があります。この10年で多くのことを学び、備えを行ってきております。一方で世界情勢は変化してきており、ウクライナへのロシアの侵攻は、原子力発電所が戦争のターゲットとなりうることを世界に示しました。

今年の学会ではこれらのことをふまえ「次の10年を展望して」-原子力災害医療におけるコラボレーション-と題し開催させて頂くこととしました。災害には自然災害もありますが、人為災害も災害の一つです。日本の周辺も必ずしも安全と言えなくなっているかもしれません。本学会では、現状の医療体制をふまえつつ、周辺国とのコラボレーション、一般災害医療チームであるDMATとのコラボレーションについて、取り上げてみます。オンサイト医療体制や、海洋放出されるトリチウムについても考えてみたいと思います。

本学術集会をより一層充実させるため、抄録集の発行を積極的に推進致したく準備を進めているところです。

つきましては、日本の被ばく医療の整備・充実のため、広告掲載並びにご寄付のご協力をいただければ幸甚に存じます。何卒ご賛助賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

謹白

記

- 1 代表者 第11回放射線事故・災害医学会
弘前大学 救急・災害総合診療医学講座 花田 裕之

- 2 開催日 令和5年9月16日(土)午前9時から午後4時まで
- 3 会場 現地開催 一部WEB(外国からの参加)
 配信会場 弘前大学医学部コミュニケーションセンター
 青森県弘前市本町40-1 電話:0172-33-5111(代表)
- 4 概要 特別講演、シンポジウム、教育講演、一般演題(ポスター)

5 収支予定概要

収入		支出	
項目	金額	項目	金額
参加費		会場費	200,000
会員		運営費	
3,000×30名	90,000	講師謝礼	230,000
非会員		通信費	100,000
4,000×50名	200,000	雑費	90,000
広告費			
20,000×40法人	800,000	学会諸経費	1,200,000
企業展示		(イベント会社経費など)	
30,000×3社	150,000	ホームページ	100,000
その他寄付協賛補助金など	680,000		
収入合計	1,920,000	支出合計	1,920,000

- 6 学会事務局 〒036-8562 青森県弘前市在府町5
 弘前大学大学院医学研究科 救急・災害医学講座
 電話 0172-39-5375 FAX 0172-39-5475
 Mail jaradm11th@hirosaki-u.ac.jp